

236 回例会のご案内 太津さんの果樹園で柿狩りと散策観光

**スーパーマーケットではちょっとない見事な柿を
ご賞味あれ。昨年、大好評につき今年も実施。**

吉野の山間にある柿農園で豊かな秋を楽しみましょう。

農園主の太津さんは当協会の会員です。

日時：11/17(土) 午前8:50

(帰着予定は午後5時)

集合場所：西梅田の大阪モード学園前集合

(右図参照) JR 桜橋口から西に 100m

※近鉄下市口集合の方は 10:35 にバスでピックアップします。

費用：約 5000 円程度

(バス代実費 41,000 円程度を参加人数と距離で割ります。

柿代、お弁当代は 2000 円) 費用は参加人数で増減します。

申込：11/9(金)までに同封ハガキ等で協会事務局へ

お申込ください。11/14(水)以降にお取消の場合は 1000 円

の取消料がかかります。現地集合をご希望の方はご相談ください。



第 237 回例会「クリスマス例会」のご案内

今年も恒例の「クリスマス例会」をご一緒しましょう。

日時：12 月 22 日(土) 午前 11 時 30 分開始 午後 2 時 30 分終了

(受付は午前 11 時 15 分より)

場所：神戸外国倶楽部 神戸市北野町 4-15-1 電話：(078) 241-2588

三宮駅もしくは新神戸駅からタクシーで 5 分。三宮そごう百貨店前のバスのりば「三宮駅前」から 7 系統「神戸駅前行き」にて「山本通 3」下車進行方向まっすぐ北徒歩 2 分つきあたり、トアロードのてっぺん(山側終点)にあります。三宮駅もしくは新神戸駅からタクシーで 5 分。注意！ タクシーを使ったとき北野外国人倶楽部と間違い易いので「トアロードの突き当たりにある神戸外国倶楽部」と伝えてください。

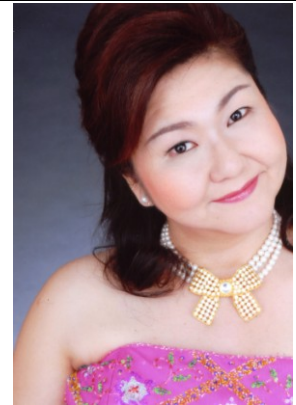
会費：5,500 円です。飲物は各自払い

プログラム：☆お一人 1 分以内全員スピーチ ☆プレゼント交換(手作り歓迎、新規購入の場合は千円程度まででご用意ください) ☆ビンゴ☆バサ(軽くてお高めのもの寄付

を歓迎) ☆スペシャルゲスト：樺田真須子(くぬぎだ ますこ)さんをお願いすることができました。樺田さんは、神戸女学院卒業、京都市立芸大修士課程修了、英国マンチェスターの王立ノーサン音楽大学のプロフェッショナル課程修了、英国でプロ歌手として活動後帰国、国内外のオーケストラとの共演、オペラ出演、定期的なリサイタルでご活躍です。神戸女学院非常勤講師、関西二期会正会員、MBS ラジオ「こども音楽コンクール」審査員。一昨年ワルジャワフィルのコンサートマスター(ヴァイオリンのピートルさん、チェロのかじみさん)と共演した際、彼らは彼女の歌唱力を絶賛しました。

申込：締め切り日 12 月 14 日(金)までに、同封のハガキ等で協会事務局までお申込みください。

12 月 18 日(火)よりお取消の場合は会費全額をいただきます。



特別ゲスト
樺田真須子さん(リブラ)



神戸外国倶楽部はその歴史を明治 2 年に遡る会員制社交クラブです。その建物は戦時中は日本海軍に接収されました。戦後、敷地を米国領事館へ譲り、トアホテル跡地の現在の場所に移転しました。歴史ある建物と緑豊かな庭園があります。

事務局：〒530-0028 大阪市北区万歳町 3-41 城野ビル 201

電話：(06) 6367 1773 FAX：(06) 6367 1793 makltd@d1.dion.ne.jp

ホームページ <http://nzsocietykansai.com/>

2012 年 10 月 23 日発行会報

日本・ニュージーランド外交関係樹立 60 周年記念行事 第 234 回例会の報告

9 月 29 日(土)大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル5階 第3研修室)で下記 2 件の講演が行われました。

講演1:巡洋戦艦・伊吹による ANZAC の護衛と日・NZ・OZ
の友好 (発表 呉橋真人)

1914 年に行われた戦艦・伊吹による ANZAC(オーストラリア・NZ合同軍)護衛時の日本、NZ、オーストラリアの友好の歴史について発表。この埋もれてしまったかに見える「伊吹と ANZAC のエピソード」は 2014 年(ANZAC 百周年)に再び脚光を浴びようとしています。当時の資料を基に、伊吹と ANZAC の欧州への旅を振り返りました。伊吹の勇猛果敢なエピソードは日本海軍の「サムライ・スピリット」として賞賛を浴びました。

講演 2:カンタベリー地震 協会の活動とクライストチャーチの状況

昨年、当協会が神戸と大阪で行ったカンタベリー地震への募金活動と、その後のクライストチャーチについて、映像を交えて報告がありました。詳細は別冊でお知らせしておりますので、そちらをご覧ください。(発表 永田美夜子)

参加者:磯辺勢津子、行天幸子、林園子、山田輝子、塙幸子、桑原耕治、高野致子、辰馬幸子、三浦治郎、西川賢一、永田美夜子、呉橋真人、柳田勘次、山口剛生、山下芳夫、石井久行(懇親会のみ)(敬称略・順不同)

11 月 17 日(土) 柿狩り例会にご参加ください。

昨年大好評の西吉野、太津さんの柿園訪問が今年も実現します。1 年に 1 回の会員のバス旅行でもあります(29 席)。たいへん楽しい 1 日です。詳細は表紙をご参照ください。ご参加お待ちしております。(尚、この会報は 10 月中旬発行で準備を進めておりましたが、多忙のため半月遅れの発行になってしまいました。お許しください。)

2013 年 1 月 27 日(日) NZタウマルヌイ高校の来日交流例会及びホームステイ募集

ニュージーランド北島中央部、ルアペフ山の近くタウマルヌイ市から日本語を学んでいる高校生 9 名(女生徒 7 名、男子生徒 2 名)、日本語教諭イアン・フォーロン先生と 2 名の引率の先生が 1 月 10 日～2 月 10 日までの 1 ヶ月間沖縄から北海道まで、日本研修ツアーを行います。当協会では 1995 年からほぼ隔年で大阪でのホームステイと交流会を行ってきました。今回のホームステイは 1 月 25 日(金)～1 月 29 日(火)の 5 泊です。1 月 25 日は夕刻京都から到着。1 月 26 日(土)はホストファミリーと自由行動。1 月 27 日(日)は当協会との交流会です。28 日、29 日は大阪市見学の団体行動を行う予定です。

ぜひ、ホームステイの受け入れをお願いします。

また交流会はこのところ 4 回、お好み焼きあるいは POTLUCK の昼食会後、大阪歴史博物館で一緒に連風作成、博物館見学、風上げなど行い午後 5 時くらいまで一緒に過ごしました。このプログラムは好評ですが、そろそろ別のプログラムも考えても良いのではと思っています。アイデアを募集しております。同封のハガキ等で事務局へお知らせください。

会員からの寄稿

NZ 英語研修の報告

行天 茂夫

昨年末に定年退職した私には沢山の時間が与えられました。私は退職後には密かに何をしようかと考えていました。それは、普段あまり乗れなかった大好きな愛車で一か月をかけ、全国の旅に出ることでした。これまで青春 18 切符を使い、旧街道沿いの素敵な宿場町や古い歴史ある建物等々を数多く見てきましたが、更に遠くの新しい発見を求める為に！

しかし、家族から“元気な内に海外に行かないと！”そして、次に出た言葉は“既にタウランガ行きをお願いしたよ。”でした。“困った時の家族の英語”が常である私が海外に一人で？と驚きました。でも、“一人での海外も良いチャンスかな？”と、前向きに長い日々考えた末“決断”して四週間程行くことになったのでした。

4/18、オークランド経由でタウランガのカレッジに到着、そこではホストファミリーがフレンドリーに出迎えてくれました。

そして、ホームでは写真のように凄く仲がいい 2 匹の犬、1 匹の猫、2 羽のオーム達からも！

NZでは与えられた部屋のドアは常にオープンにするのですが、深夜熟睡しているとベッドの上に何かに乗っていて重い感じ！なんだろうと首をかしげるとネコ！足で除けようとするのですが、遊んで貰えているものと勘違いして更に寄ってくる。その夜以来、深夜にはドアを閉めたのですが、ドアをひっかく猫の爪音で数日間は目が覚めたのでした。

NZでの生活習慣はある程度理解していたので、食事等の問題はありません。しかし、英語でのコミュニケーションが一番の心配でしたが、笑顔だけは絶やさないと心をなげけることに努めました。

ファミリーとはMtマンガヌイへのハイキングやショッピング、そしてスパにも連れて行ってもらいました。

カレッジでのアフタースクールでは、よく市内を散策して港で水揚げされた魚のフィッシュ&ポテトをいただいたり、小さなミュージアムに行ったりと楽しく過ごしました。

又、カレッジからは近くの公園やワイナリーでの試飲、チーズ工場の見学の他、タウポ、ワイトモにも行ってきました。

一泊旅行としてはロトルアへ行き、そこではスパやアグロドームの羊ショーを楽しみました。

日本ニュージーランド協会（関西）

あちらでは積極的に友達作りを心がけ、通学時のバス停や市民交流会で知り合ったりして市民の方から、“タウランガに来た時には必ず寄ってね”と再会の約束と帰国してメール交換等、嬉しいことばかりでした。ひょっとして、近い将来には来日して貰えるかもしれません。

帰国前日のオークランド市内観光ではショッピングやタワーに行ったりして、最後の夜を楽しみ 05/12 に帰国しました。

ニュージーランドからのお便り 1

会員の皆様、こんにちは。オークランドの佐藤慎平です。

初めに、8 月に私の壮行会を開いて頂きまして、柳田名誉会長はじめ、皆様にこの場をお借りして、御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

9 月 1 日にオークランドへ来て、1 か月が経ちました。妻の真弓は、私より先に今年 2 月に NZ へ来て、園芸の勉強をしながら、ホストファミリーと住んでおりました。そこに私も加わり、夫婦でホームステイさせてもらっています。学校の先生をされているキーウィの女性で、とても親切に接してくださっています。

近況を報告いたしますと、先日、中古車を購入しまして、ようやくこちらでの生活が本格的にスタートといったところです。2000 年製の日産マーチで、こちらではまだまだ 現役バリバリの車です。街中では、たまにダットサンが走っていたりするので、驚きです。

仕事についてですが、ニュージーランドの国内景気は停滞気味であり、世界的な不況のあおりで、一筋縄ではいかないと思います。商社とエレクトロニクス関係の業界におりましたので、その経験を活かせるような仕事に就くことができればと、少しずつ前に進んでゆきたいと思っています。

ニュージーランドへ近い時期に来られるご予約のある方は、是非、ご一報ください。また、メールは逐次チェックできますので、ご連絡いただければ、返信いたします。

simsimpei@gmail.com

+64-(0)22-129-3355

佐藤慎平・真弓

ニュージーランドからのお便り 1

会員の皆様、片波見徳将です。

ニュージーランドには National Park をはじめ数多くの公園があります。オークランドにも Auckland Regional Park が幾つもあり、先日佐藤君と共に Muriwai Beach と Waitakere Range へトレッキングをしに行ってきました。どちらもオークランドの市街地から車で西へ 1 時間程度の距離にあり、週末など日帰りで自然を満喫するのに最適の場所です。

Muriwai Beach は Gannet (カツオドリ) の繁殖地として有名で、私達が訪れた時も沢山のカツオドリのカップルを目にする事が出来ました。コロニーを見学できる展望台までは

綺麗に整備されており、ここからの眺めは時間を忘れ、自分もカツオドリと共に空を飛んでいるかのような気持ちにさせてくれます。このカツオドリはタスマン海を越え、オーストラリアまで渡っていくそうです。そして、Muriwai Beach は波が高く、これから夏に向けて多くのサーファーや釣り人で賑わうそうです。

Waitakere Ranges はオークランド中心部から西へ 25km、16,000 ヘクタールもある森林地域。数多くあるトレッキングコースの中から、私達はテーマを「滝」に絞り、3 つのコースを歩き、それぞれの滝を見に行く事にしました。まずは Arataki Information Center を訪れ、近くの 3 時間弱の Fairy Falls を見に行くコースを歩く事にしました。ここでは滝の他にもニュージーランド特有の Kauri の木を見る事が出来ます。次に映画「ピアノレッスン」のロケ地にもなった Piha Beach に移動し、Kitekite Falls を、さらに Piha の隣 Karekare にある Karekare Falls を見に行ってきました。トータル 5 時間以上のトレッキングでしたが、どの滝も想像していた以上に美しく、普段 Auckland の街中で生活する私にとってはとても新鮮でした。

オークランドに来て時間が無いけれど「カウリの木が見たい。ニュージーランドらしい自然を満喫したい。」という方には Waitakere Range は最適の場所です。是非オークランドに来られた際は訪れてみてください。

また、ニュージーランドでは 9 月下旬から 10 月上旬にかけて桜の花が見頃を迎えました。日本ほど沢山の桜の木があるわけではないですが、桜の木の周りでは大勢の人が桜の花を楽しんでいました。佐藤君と訪れた Cornwall Park の写真も一緒に送信いたします。

新入会員紹介

山野 敏子(やまの としこ)さま

森川 和代(もりかわ かずよ)さま

永江 まり子(ながえ まりこ)さま

松元副会長の奥様のご友人で、NZ ラム料理会のチームパバロバとして活躍いただいている方々です。

村上 祥子(むらかみ さちこ)さま

ピアニストで、昨年のクリスマス会でも演奏していただきました。

清水 優美子(しみず ゆみこ)さま

山田副会長のご友人で今年 NZ 旅行をご計画中です。



このゴマ粒の正体は？



カツオドリです。

Williams はボクシングでのキャリアも継続するそうだ。

2012 年 7 月 14 日

NZ ニュースクリッピング

オークランド大学の新施設はワールドクラス

オークランド大学のグラフトンキャンパスは 2 億 4,000 万ドルをかけて再開発され、これまでで単体では最高額の資本開発となる。1968 年に 55 人の学生のために設立された医療訓練施設を増強することが目的とのこと。

大学では現在、4,000 人以上のアンダーグラデュエイトの医学部、薬学部、看護学部、その他学部の学生と、またポストグラデュエイトの研究教育学部学生が学んでおり、彼らの全てが新校舎で講義を受けることになる。

新施設には、感染症研究のための高度密閉研究室も備えられている。この開発によりオークランド大学は、年間 300 人の医学生の修学が可能となるという。

社会 2012 年 7 月 5 日

歩道の喫煙禁止すべきか

職場で、レストランで、そして何か所かの公園でさえ、タバコを吸うことはできなくなった。今や歩道での喫煙も禁ずるべきだという意見が出ている。

オタゴ大学では、昨年 5 週間にわたり Lower Hutt で歩道の空気環境調査を行った。この間 280 人以上の喫煙者がカウントされた。これによると、タバコを吸いながら歩道を歩く人が、見えない灰の粉塵を周囲の人にまき散らす確率は、通常の街中と比べると 70% も高いことがわかった。

調査責任者は、喫煙者の隣に立つことは、ラッシュアワーで排気ガスにさらされるより、倍は悪いことであると語る。

社会 2012 年 7 月 12 日

Sonny Bill Williams 日本へ

オールブラックスの Sonny Bill Williams が、9 月に始まる日本ラグビー協会のトップリーグで 1 シーズンプレイした後、2013 年にはナショナル・ラグビー・リーグへ参加すると発表した。

Williams は現在ハミルトンに基盤を置くチーフスでプレイしているが、スーパーラグビーの後にはパナソニック・ワイルド・ナイツで実入りのいい 10 試合の契約をしている。Williams はオールブラックスで 17 のテストマッチ、チーフスとカンタベリーのクルセイダーズで少なくとも 20 のスーパーラグビーマッチ出場を果たしている。

ナショナル・ラグビー・リーグに戻ることは 4 年前の取り決めだったが、ニュージーランドでのラグビーが非常に楽しかったのも、今は後悔していると Williams。オールブラックスの Steve Hansen コーチは、ニュージーランドラグビーが Sonny Bill Williams を失くすのは非常な損失だが、彼の意思を尊重するべきだろう、とコメントした。

ニュージーランドから豪州へ、加速する人材流出に打つ手なし

ニュージーランドはこの 10 年ほど、海外への「頭脳・労働力流出」に悩まされている。ここに来てその傾向が加速し、人口増加率に影を落とすところになってきている。

その流出先のトップに挙げられるのが、隣国オーストラリアだ。今年 2 月までの 1 年間に約 5 万 3,000 人のニュージーランド人がオーストラリアに渡った。その総数は現在 60 万人に達し、今後も増加が予想されている。

ある週末、オーストラリアでの就職斡旋会「OZ・ジョブズ・エキスポ」が、ニュージーランド最大の都市オークランドで行われ、約 6000 人が集まった。以前は「渡豪を検討中」という程度の考えの人が主だったが、最近では、「仕事が決まれば明日にでも引っ越す」という、すでにオーストラリアへの移住を心に決めた人が参加者の大半を占める。

オーストラリアの魅力の第一に挙げられるのが、給与の良さ、そしてキャリアを積むためのチャンスの多さだ。特に今、オーストラリアは鉱山採掘産業のブームにわいており、北部準州だけでも向こう 5 年の間に 2 万人分にも及ぶ雇用の機会が作り出されるという。OZ・ジョブズ・エキスポでも、高給が望める採掘産業の求人に長蛇の列ができていた。

移住問題に詳しい時事解説者によれば、オーストラリアはニュージーランドを「人材プール」と見なしているという。国内では自分の能力に見合った所得を確保できないと考えるニュージーランド人と、高い給与を提供できるオーストラリアの雇用主のニーズはうまくマッチする。

そのほかにも、オーストラリアで不足している医師、看護師、幼児教育者の職に対し、ニュージーランドで人材を募集、渡豪を促すケースも多い。しかしこれらは、ニュージーランド国内でも働き手の不足が深刻な職種。その点皮肉といわざるを得ない。

近年、ニュージーランドでは、高校卒業後に海外の大学に進むケースも増えつつある。ニュージーランドの大学の世界的ランキングが下がったため、より高みを目指す優秀な高校生はランクが上の海外の大学へ進学し、そのまま現地で就職する。こうして見ると、頭脳・労働力流出は、国民が高校を卒業する時点から始まっているともいえる。

国民党政府は 2008 年の選挙の折、海外への頭脳・労働力流出に歯止めをかける公約をしたにもかかわらず、それは達成されていない。また当時オーストラリアと給与を同等にすべく特別委員会を設置し、2025 年までにその実現を目指すことを表明したが、目立った動きはない。

両国の失業率を比較すると、2012 年 3 月現在オーストラリアが 5.2 パーセントなのに対し、今年 3 月までの四半期のニュージーランドは 6.7 パーセントと、統計からいっても

オーストラリアの雇用状況の方が良いことが明らかになっている。ニュージーランドのキー首相は、鉱山採掘産業以外のオーストラリア経済は決してバラ色ではないと指摘し、オーストラリアで就職することに警鐘をならしているが、実際頭脳・労働力流出を防ぐための具体的な手立ては講じていない。

海外で経験を積むのは悪いことではない。しかし、いずれはニュージーランドに戻り、それを国内社会や経済に還元してほしい。そんな考え方はもはや通用しないのかもしれない。

グローバルプレス 7 月 17 日

不正な学生ビザで国外追放

違法な学生ビザでニュージーランドに入国した 5 人が発見され、彼らは国外追放になった。

ニュージーランド移民局の最新情報では、依然として 246 人が同様に違法に学生ビザを取得して現在も国内に住んでいるという。不正学生ビザの調査には、さらに数週間を費やすであろうとのこと。

調査の一貫として行われた警察との共同調査で、8 人が学生ビザで滞在しながらブレンヘイムのブドウ園で働いていることが判明した。8 人は全員英語を話さず、国外追放処分となった。

社会 2012 年 7 月 19 日

運動足りないニュージーランド人

ニュージーランドはスポーツ好きな国民の国というイメージがあるが、実はカウチポテト族の国であることが調査で判明した。医学雑誌 Lancet の調査によると、ニュージーランドの成人のほぼ半数が身体的な運動が不足、122 カ国中 27 番目に怠惰な国とランク付けされた。

最も怠惰とランク付けされたのはマルタ共和国で、逆に最も活動的なのがバングラデシュという結果となった。オタゴ大学の Jim Mann 教授は、ニュージーランド人 4 分の 1 が太りすぎという事実を鑑みればこの結果は驚くに値しない、と語る。

安全な自転車専用通路をより多く設けるなど、政府は人々に体を動かすことを促す対策を早急に打つべきであると彼は説く。

社会 2012 年 7 月 21 日

肥満研究ファット・スタディーの最前線

キャット・ポーズ (Cat Pause) さんは誇りを持って自らを「でぶ (fat)」と表現する。ポーズさんは米国生まれの研究者で、新興研究分野「ファット・スタディーズ」の草分け的存在だ。7 月 12～13 日、ニュージーランドのマッセー大学ウェリントン校で史上初の「ファット・スタディーズ学会」を開催した。

ファット・スタディーズは歴史学や英語学、政治科学などと同じれっきとした学問分野だと、ポーズさんは説明する。太った人を社会がどう見ているかを分析し、ウェスト周りのぜい肉は不健康の証だと決めてかかる風潮に異議を唱えるものだという。

学会には米国やオーストラリアからも研究者が集まり、例えば『肥満大流行』時代におけるでぶ嫌悪と左派」だとか、「肥満の人を軽んじる診断の役割」などと題された論文をめぐって議論を交わした。

「私たち(でぶ)がやたらと恐れられ嫌われる理由の 1 つは、一般的に外見には体の状態や生活ぶり透けて見えると考えられているからです」とポーズさん。「だから、私のようなでぶのボディーラインを見たとき、不健康で病気の体だと人々は思うのです。運動なんてしたこともなく、ジャンクフードばかり食べているのに違いはない、と」だが実際のところは、他の人よりも少し大柄な人がいるだけだ、とポーズさんは指摘する。ファット・スタディーズはこの事実を社会に認めさせ、太った人に審判を下して痩せるよう圧力をかける風潮をなくす必要を強く訴える学問なのだ。

ポーズさんは「体重過多」という表現に嫌悪を感じるが、それはこの単語が「本来あるべき体重を超過している」ことを示唆しているからだ。「肥満」も同じように、「でぶを病気扱いするために医学界が使っている単語」だとポーズさんは一蹴する。

マッセー大学講師のアンドリュー・ディクソン (Andrew Dickson) さんは、太った人たちの不安を食べ物にして成長してきたと、ダイエット業界を批判する。「ダイエットを試みた人の 95% は失敗する。つまり、ダイエット業界など本当は存在しないのです。彼らがやっているのは、体重に関する不安を解消する商品の販売でしかありません」

そうやってあおられる不安感のはもはや「身の毛もよだつ強迫観念」と化している、とディクソンさん。自身、かつて体重を 130 キロから 86 キロまで「落とさなければならぬストレス」に苦しんだという。現在の体重は 100 キロで、いわゆる標準体重グラフでは肥満に分類されるものの、健康だと自負している。

オークランド工科大学の栄養学者エレーン・ラッシュ氏は最近、テレビ・ニュージーランド (TVNZ) の取材に対し「身長体重比だけでなく、脂肪が内臓のどこに付いているのかが重要だ」と述べている。

ポーズさんは、人種差別や性差別を禁止する法律はあるが、太った人に対する差別はとでもありふれている上、政府の反肥満キャンペーンによって差別が助長されていると指摘。「多くの国で性別や人種による差別は法律で禁じられ、性的指向もどんどん保護されるようになっていく。それなのに、体重による差別は違法ではないんです。ぜひ、体重も法の保護対象に入れて欲しいですね」と訴えている。

(c)AFP/Neil Sands【7 月 20 日 AFP】

テ・アワムトゥに近いキヒキヒという町にあるお菓子屋 Viands Bakery のしょうが風味のモモ、なし、コアントローのパイが、今年のベスト・パイに選ばれた。Bakels 社のコンテストで、16 年間でグルメ・フルーツ・パイが最高賞を取るのは 3 度目。

賞の対象となったパイを作ったのは、Viands Bakery の Shane Kearns さんとその妻。お店のファンである客の 1 人がパイの中身の考案を手伝った。この 2 人が賞を取ったのは 2 度目。優勝パイは他の 4,500 個のパイを打ち負かした。

審査員の 1 人は、今年のパイのレベルには目を見張るものがあるが、Kearns さんの作品は際立っていると絶賛している。

生活 2012 年 7 月 29 日

今年のトップ資産家はロシア人

National Business Review の長者番付で、スチールと鉄のロシアの大富豪 Alexander Abramov 氏が、今年のリストのトップとなった。彼はベイオブアイランドに 4,000 万ドル相当の豪華な大邸宅を建てた。

Abramov 氏に続く 2 位には、パッケージ王の Graeme Hart 氏。数カ国のエネルギー、通信、銀行に 40 億ドルの投資をした Richard Chandler 氏が 3 位となった。

ニュージーランドに非常に大きな投資をし、ずっと住み続けるか否かはさておき、この国に居を構えた外国人たちがリストに含まれている。他の外国人としては、アメリカの映画監督 James Cameron と、オークランドに基盤を置くホテル王 Pandey 家がリストに名を連ねている。

社会 2012 年 8 月 1 日

トンガリロ山で噴火

6 日夜トンガリロ山で噴火があり、新たに 3 つの蒸気通気口ができていているという。トンガリロ山が噴火したのは 115 年ぶり。火山灰雲が北島中心部に広がっている。

ニュージーランド北島 (North Island) 中央部にあるトンガリロ山 (Mount Tongariro) が噴火して火山灰が高度約 6100 メートルまで舞い上がり、国内線の欠航や高速道路の閉鎖といった影響が出た。同国の地質核科学研究所 (GNS Science) の発表によれば、噴火が起きたのは現地時間の 7 日午前 0 時 (日本時間 6 日午後 9 時) の少し前で、これほど大きな火山活動が起きたのは 1897 年以来だという。

警察は今のところ負傷者などの被害の報告を受けていないが、今後、遠隔地域に設置されている登山者用の避難小屋を調べる予定だという。また警察によると北島を走る高速道路の幾つかが視界不良のため通行止めになったが、7 日午前に通行止めは解除された。

民間航空局 (Civil Aviation Authority, CAA) によれば、国際線は高度 6100 メートル以上を飛行するため噴火の影響は受けないとみられている。(c)AFP2012 年 08 月 07 日で、周囲の住民は避難を余儀なくされ、爆発の轟音、クレータ

ーから立ち上る蒸気、閃光などが報告されている。灰が付近の道路を覆い、最も遠いところではネイピアでの火山灰が認められている。噴火はマグニチュード 2.5 から 3 の地震を伴ったとのこと。

社会 2012 年 8 月 8 日

太平洋上に大量の軽石漂う、長さ 450 キロ超

ニュージーランド沖の太平洋上に長さ約 460 キロ、幅約 56 キロにわたって大量の軽石が漂流しているのを発見したと、同国海軍が 10 日発表した。軽石に覆われた海面の広さは 2 万 6000 平方キロメートルにも及ぶという。

この怪現象は、ニュージーランド空軍機が 9 日に同国沖 1000 キロの太平洋上で確認し、ちょうどその方角に向かっていた海軍艦艇に警告した。目撃した海軍士官によれば、軽石群は海上に 50 センチメートルほど突き出した状態で漂っており、白く輝いていて、まるで氷棚のように見えたという。

海軍艦艇に乗り合わせた科学者らによるとこの軽石は、最近活動が活発になっている海底火山「モノワイ (Monowai)」から噴出したものとみられるという。

ニュージーランドでは前週、北島にあるトンガリロ山 (Mount Tongariro) が噴火したばかりだが、科学者らはこの洋上の現象はそれとは無関連だと説明している。

AFP 2012 年 08 月 13 日

移民の大半ニュージーランドライフにハッピー

最近新たにニュージーランドに移住した人 2,000 人を対象に行った調査で、大半の人が仕事を持ち、ニュージーランドの生活が楽しいと答えていることが分かった。ビジネス・革新・雇用省の調べでは、80 パーセント以上が生活に満足し、90 パーセントが友達や親族にも移住を勧めるとして

いる。ニュージーランド移住の理由で第一は、友人や家族との時間を大切にしたいということで、次が自然の中で落ち着いた暮らしがしたいというのが次の理由。10 人のうち 3 人は失業中だが、残りの 73 パーセントは現在の仕事に満足していると答えた。技能系カテゴリの移民は、全体の移民数の 90 パーセントを占める。

社会 2012 年 8 月 14 日

ニュージーランド大健闘メダル数 15 位

ロンドンオリンピックでのニュージーランドのメダル獲得数は 13 個で 15 位についた。内訳は金 5 個、銀 3 個、銅 5 個。1988 年のソウル以来、最高の結果となった。

ボートで金 3 個、銅 2 個の計 5 つのメダルを獲得。セーリングで金 1 個、銀 1 個の 2 個。自転車トラックで銅 2 個。陸上、自転車 BMX、カヌースプリント、及び馬術の各種目で銅 1 個ずつ。

アメリカ合衆国が総メダル数 102 個のトップで、2 位が中

国の 87 個、3 位がロシアで 82 個。日本は 38 個の 6 位。

オーストラリアは 35 個の 7 位に終わり、内訳は金 7 個、銀 16 個、銅 12 個。

芸能／スポーツ 2012 年 8 月 15 日

大麻吸引で IQ 低下、吸引をやめても知能は戻らない NZ で大規模調査

アメリカのデューク大学の心理学者であるマデリーヌ・メイエー氏は、10 代のうちに大麻をやりすぎると、知能指数 (IQ) や認知機能が低下するかもしれないとする研究論文をまとめ、この研究結果は 8 月 27 日に発行された学術誌「Proceedings of the National Academy of Sciences」に掲載された。

この研究ではニュージーランドで 1,037 人の被験者に対して 0 歳から 38 年間追跡調査を実施し、被験者が大麻を吸い始める前、13 歳の頃に IQ テストを実施、その後、被験者が 38 歳のときにもう一度テストを行った。その結果、10 代から大麻を吸い始め、その後も頻繁に吸い続けていた人では、IQ が約 8 ポイント低下したことがわかった。

IQ は 100 で中間程度の知能を持つと言われ、そこから 8 ポイント低下した 92 では下から 3 割程度のランクになってしまふ。

ホワイトアイランド観光客へ警告

今月初めに起こった火山爆発以来、ホワイトアイランドは通常よりも危険度が高いと、科学者は観光客へ呼びかけている。

炭素ガス、二酸化硫黄、硫化水素の放出は平常となり、訪れる人への危険度も低くなったが、爆発は予告なしに突然再開することも充分ありうるので、警戒は解かないよう訴えている。

航空コードは未だに黄色で、このことは航空機は潜在的な火山爆発を認識しながらの飛行が必要なことを意味する。

社会 2012 年 8 月 30 日

マオリ語必須科目となるか

Independent Maori Statutory Board はオークランドの学校で、マオリ語を必須教科とする提案を投げかけている。この計画は 30 年後の長期を見据えて、オークランドのマオリの生活向上と市の文化的独自性を強調することを目標としている。

オークランドカウンシルが、市内の標識を 2 ヶ国語表示にすることや、マオリの観光事業展開に役立てることなども狙いに行っている。協会のチェア David Taipari は、多くのマオリコミュニティに相談し実現可能なプランの青写真を作り上げた、と語った。

社会 2012 年 9 月 4 日

ラグビーよりサッカーが好きな子増える

5 歳から 18 歳の子供たち 1 万 7,000 人以上を対象にしたスポーツ調査を、昨年ラグビーワールドカップが開催された 9 月と 10 月に行った。この結果として、10 人中 9 人の子供が定期的に運動をしているとわかった。

また 5 歳から 10 歳の男の子のうち 73.8 パーセントがサッカーをしているのに対し、ラグビーをしている少年は 65.6 パーセントとなった。この調査の目的は、子供たちはどんなスポーツが好きかを明確にすることにあったとのこと。

水泳は男女ともに最も人気のあるスポーツで、陸上競技なども好まれている。

芸能／スポーツ 2012 年 9 月 9

運転免許の試験難しく

交通局の調べで、制約付き運転免許証 (restricted License) の新テストにパスした人は半数以下だったという結果がでた。これは教習中のドライバーが 120 時間の監視付き運転を経て受験資格が発生する試験で、この 2 月から新しくなった。

3 月には試験を受けた教習中ドライバーの 38 パーセントがパス、8 月には 46 パーセントに増加した。旧システムの合格率は 80 パーセントであったという。

交通局担当者は、合格率の劇的な低下は予想されたもので、新しいテストは道路の交通安全と事故の低下を目的としている、と語る。

ニュージーランドは先進国中、16 歳から 17 歳の運転手による交通事故死が最も多い国となっている。

生活 2012 年 9 月 12 日

オーストラリアへの移住者激増

ニュージーランド統計局の調べで、昨年 9 月から今年 8 月までの 1 年間で総合計で 4 万人がオーストラリアへ移住したことが分かった。詳細は、5 万 3,000 人がオーストラリアへ移住、1 万 4,000 人がオーストラリアからニュージーランドへ移住という結果。差分の約 4 万人は記録的な大きさ。

この移住の大半はニュージーランド市民権保持者。

しかしながら全体的には、英国、中国、インドからニュージーランドへ移ってきた人達によって移民者数は増えている。

同期間の 1 年間にニュージーランドを訪れた人の数は、260 万と 5 パーセントも増えているが、これはラグビーワールドカップの効果である。

社会 2012 年 9 月 24 日

ニュージーランドの夜間運転の危険度高い

ニュージーランドでの夜間運転は、他の先進国と比較して 3 倍も危険度が高く、街路灯が少なすぎることは大いに

懸念すべきことという調査結果がでた。これによると、ニュージーランドの道路の街灯規定レベルは、英国、ヨーロッパやアメリカの4分の3レベルにしか達していないという。

居住区の通りの灯りは、他の先進諸国のわずか4分の1でしかないとのこと。調査の担当者は、道路の灯りを増やすことが夜間の交通事故を減らし、結果として死傷者は35パーセント減少し、1年に61名の命を救うことにつながると説いた。

社会 2012年10月6日

ウサイン・ボルト、ニュージーランドに

世界最速の男 Usain Bolt が、プロモーションのためニュージーランドにほんのわずかな時間立ち寄った。Bolt がオークランドにいたのは24時間以下であったが、伝統的なマオリの儀式ポフィリで歓迎された。彼は特にハカには大感激したと語った。

「こんなのは初めてだった。ぞくぞくとした。もの凄いエネルギーを感じたし、ホントに素晴らしい。自分もこんなものやってみたい」と感動を語った。

その後 Bolt は、ニュージーランドのバスケットボールチーム、ブレイカーズのヘッドクォーターであるマイランギベイを訪れ、バスケットボールシューズのキャンペーンのため、選手たちと会った。

更にノースショアのミレニアム・インスティテュートで、ニュージーランド最高の若きスプリンターたちに軽いコーチをするなどした。

芸能／スポーツ 2012年10月10日

ホームレス女性のための保護施設もっと必要

女性ホームレスの数が増えてゆく中、ウェリントンとクライストチャーチの保護施設運営者から、女性向けシェルターの必要性が叫ばれている。Wellington Night Shelter のマネージャが、小さな女性専用のホテルを開設した。パートナーとの関係が壊れたり、家賃の値上がりや失職などの事情で家を失くした女性が一週間まで滞在でき、その間住む家を探す手助けをする。

女性ホームレスの数の国内公式データはないが、海外でのリサーチ結果からして、おそらくホームレスの45パーセントは女性であると考えられる、とのこと。

クライストチャーチでは特に、地震が原因で女性ホームレスの数が増していたが、今は家賃が急激に上がったことで更に増える傾向にあるとのこと。

社会 2012年10月11日

ニュージーランド首都が「中つ国」に改名！『ホビット』プレミアに合わせ

来月28日に映画『ホビット 思いがけない冒険』のワールドプレミアが開催されるニュージーランドの首都ウェリントン

が、1週間限定で「ザ・ミドル・オブ・ミドルアース(The Middle of Middle-earth)」に改名すると正式に発表した。映画の舞台になっている「中つ国(Middle-earth)」にあやかっただけの名前となり、ピーター・ジャクソン監督は「プレミア開催にあたって協力していただいた、ウェリントン市長、市議会、市民に感謝したい」とコメントを寄せている。

『ホビット』3部作は、同じジャクソン監督の『ロード・オブ・ザ・リング』3部作同様、ニュージーランドで撮影されたことで話題に。改名にあたっては、空港名も「ザ・ミドル・オブ・ミドルアース」を採用したものに變更。ロゴに関しても、現在『ホビット』3部作のアートディレクターが制作中だという。

さらにセリア・ウェイド＝ブラウン市長は、『ロード・オブ・ザ・リング』3部作の野外試写会をはじめとする数々の関連イベントを行うと発表。市全体で本作をサポートする意向を示している。(編集部・福田麗)

映画『ホビット 思いがけない冒険』は12月14日公開

シネマトウディ 10月18日

倒壊ビル近くに慰霊樹 ニュージーランド、日本人28人死亡の語学学校

2012.10.16 共同

ニュージーランドのクライストチャーチ市で昨年2月に起きた地震で、市中心部にあったカンタベリーテレビ(CTV)ビルの倒壊に巻き込まれ、死亡した日本人28人らが通っていた語学学校の関係者が16日、亡くなった生徒や同校スタッフらのための慰霊樹1本をビル跡地近くの広場に植えた。

同市によると、植樹には一部の関係者のみが立ち会った。学校側の意向で、学校関係者らが地震直後に集合した広場が場所に選ばれた。

慰霊樹のほか、亡くなった人を追悼する銘板の設置も検討されている。地震発生から2年となる来年2月22日の前後に遺族や友人らを招き、式典を開いた上で設置する予定という。

語学学校は地震当時、CTVビルに入居。ビルの倒壊で計115人が死亡した。(共同)

橋下徹大阪市長 朝日新聞記事「NZの教育事情」を批判

2012年10月12日、橋下徹大阪市長は自身のTwitterにおいて、朝日新聞の記事を「幼稚な批判」「便所の落書き以下ですね」と一蹴した。「阿久沢記者はNZの教育行政システムの本質を理解せず、とにかく大阪維新の会、いや僕の批判にきた。NZのシステムが、自分たちが金科玉条の如く守ろうとしている日本の教育委員会制度の完全否定だと言うことを認識せずに。といういことで、この阿久沢記者の記事は、便所の落書き以下ですね。」

大阪維新ホームページ 10月15日

橋下市長が批判した10月9日と10日の朝日新聞記事を
転載します。

NZの学校、保護者が仕切る 校長採用・予算配分に権限

■NZの教育事情:上

大津のいじめ事件や、大阪市の橋下徹市長の問題提起をきっかけに、これまで日本の教育を仕切ってきた教育委員会制度が揺れている。教委がダメなら、教育を仕切るのは国か、首長か——。そんな議論を背に、南半球のニュージーランドへ飛んだ。同国では、国でも首長でもなく、地域の保護者が学校を仕切っているという。そんなことが可能なのか。日本でもできるのか。

ニュージーランド第2の都市、クライストチャーチ市郊外にあるセント・マーチンス小学校では毎月第3火曜日の午後6時半、学校理事会が始まる。

議長のグレッグ・ハミルトンさん(46)は7年生の娘と6年生の息子の父で、市の公衆衛生部に勤務する医師。他の理事もエンジニアや大学教員などの職を持つ親たちだ。「震災後の子どもの心のケア担当を雇いますか？ 何人必要？」「誰がいつ面接しましょうか」。約2時間の会議で具体的な課題を話し合い、結論を出していく。

■親5人が理事

学校理事会は、保護者の中から3年に1度の選挙で選ばれた理事5人と、校長、学校職員の代表7人でつくる。

理事の権限は強大だ。

理事会は選出されるとまず、学校の教育目標にあたる「学校憲章」を決める。多様な民族、学力の子が通う同校の目標は「学習意欲の向上」。障害のある子も含め、一人一人が自己ベストを更新できるような目標をと考えた。

次に教育雑誌に求人を出し、憲章を実現してくれそうな校長を面接で決める。この学校では、荒れていた前任校を「いじめゼロ」を掲げて立て直したロブ・キャラハン校長(54)を選んだ。それから雑誌や新聞に広告を出して教員を募集。校長と共に面接して雇用する。こうして、保護者がのぞむ教育目標を実現してくれる組織をつくりあげる。

それだけではない。学校規模などに応じて国からもらった予算をどう使うかも理事会が決める。ここ数年はIT教育の充実を目標に、パソコンやタブレット端末の導入に優先的に予算を割いてきた。

理事会の意向は教育内容にも及ぶ。日本の「学習指導要領」にあたる「ニュージーランド・カリキュラム」は、授業時数から教科書の内容まで細かく決める日本とは違う。それぞれの履修期間に2～4年の幅を持たせ、学校ごとに重点科目や教材を決められる。

■会合は月1回

セント・マーチンス小の理事会は、先住民のマオリ文化の伝承や演劇活動、環境教育に力を入れていた。

教育の素人が大半を占める理事会が、月1回の会議だけで学校を仕切っているのはなぜか。

秘密は「ガバナンス」と「マネジメント」の仕分けだという。理事会は全体の目標を決める「ガバナンス」に徹する。その目標を実現するため具体的に何をどう教えていくかの「マネジメント」は、専門家である校長に任せる。

そのため月1回の会議は、校長がつくった議案を事前に読んだ理事が次々と承認する形で進む。一見、事務局提案を追認する日本の教委と同じに見えるが、キャラハン校長は「あらかじめ理事と教育理念を共有しているから当然です。教員評価など細かな点で意見が割れても、大筋ではもめようがないのです」。

日常のコミュニケーションも大事だ。校長は議長に毎日メールを送り、いじめなどのトラブルも報告する。解決に動くのは教師だが、そのやり方は理事会がチェックする。

理事の仕事は年間で約100時間。報酬は、議長が年700ニュージーランドドル(約4万5千円)、理事が550ドル(約3万5千円)と、多くはない。それでも、なり手がなくて困る学校は少ない。

ハミルトン議長は、学校教育を通じた地域貢献に興味があり、立候補したという。「新しい目標を掲げ、校長を招き、地域の実情や時代の変化に見合うように学校を変える。そんな手応えを保護者がじかに感じられるのがだいご味なのです」(阿久沢悦子)

保護者は学校の当事者 教育経験ない校長「あり得ぬ」

■NZの教育事情:下

【阿久沢悦子】教育委員会を全廃し、保護者が学校を切り盛りするニュージーランド(NZ)。日本でも、橋下徹・大阪市長率いる大阪維新の会が保護者や生徒の「ユーザー視点」を基にした教育改革を打ち出し、注目された。相違点は何か。

大阪の教育改革は、生徒や保護者に学校を選んでもらうことで、学校や教師に切磋琢磨(せっさたくま)を促し、よりよい学校を生き残らせて教育の底上げを図る。NZとの共通点の一つは、教員や教職員組合が学校を仕切ることへの警戒感だ。

大阪は、公立学校の先生に式典での君が代起立斉唱を義務づける条例を制定。ルールに従わない教員や組合は許さないという姿勢で校長の権限を強め、改革をしやすくする狙いがある。

NZも23年前に教育委員会を全廃する際、政府は理事会が教職員組合に「乗っ取られる」と心配した。だが、そのために校長の権限を強化するのではなく、支援や評価を通して保護者でつくる学校理事会の運営基盤を強めた。学校理事会連合会(NZSTA)のロレイン・キール会長は「教員の発言権が強すぎると、子どもや保護者主体の学校にならない。だから保護者を支える必要があったのです」と話す。

NZSTAは、新任理事への研修や電話相談を通じて経営管理のノウハウや決算書の読み方を指導し、理事会をバックアップする。

ここから見えてくるのは、保護者を教育サービスを受ける「消費者」とみる大阪と、教育を作り出す「当事者」とみるNZの違いだ。大阪では消費者に選ばれる学校づくりをする校長を後押しし、NZでは地域がのぞむ学校づくりを進める保護者を支える。

不適格教員の扱いにも、この違いが表れている。

NZでは、能力が不足していたり問題行動を起こしたりする教師は、雇用主である理事会が罰したり解雇したりできる。NZSTAは、懲罰的な人事をする前に話し合いを重ね、授

業や指導の改善を促すよう助言する。無理な解雇は、保護者を労働裁判の被告にしかねないからだ。

大阪でも今年、保護者でつくる学校協議会が、地域の保護者から不適格教員排除の申し立てを受けて校長に伝える取り組みが始まった。だがその教員の扱いを決めるのは校長。保護者が当事者として慎重に処分にかかわるNZと違い、消費者としてクレームをつける権利を認めた形だ。

校長観にも差がある。

大阪では教育に外部の視点を入れるため、弁護士や経営者も校長になる。NZ全国校長会のポール・ドラモンド会長は「あり得ない」と驚いた。NZで校長に求められるのは、理事会が決めた教育目標を具体的な実践を通して実現すること。プロとしての教育経験は必須なのだ。

いま大阪では、選ばれた学校だけを生き残らせようとする学校選択制の導入に「学校と地域の関係が薄まる」と反発する声がある。選挙で選ばれた保護者が地域の実情をみて学校を仕切るNZでは起こりえない論争だ。

南島のネルソン市のホープ小は児童数78人。周囲には牧場とワイナリーが広がり、保護者の大半が農場の経営者だ。学校理事会が決めた最優先事項は「子どもが楽しく安全に過ごすこと」。実生活で役に立つ読み・書き・計算をていねいに教え、高度な応用問題は必要な子がやればよいと割り切っている。デビッド・プリチャード校長(62)は「保護者は必ずしも子どもが弁護士や医師など高収入の専門職につくことを望んではいない」と話す。

テストや受験の結果に注目が集まりがちな日本。ここまで教育を担う覚悟が保護者にあるだろうか。



机には児童一人一人の「今日の学習目標」が貼ってある。毎日教師が手書きで更新する＝ネルソン市のホープ小学校



ラグビーの試合の前に披露する、マオリの民族舞踊「ハカ」を習う子どもたち。多文化共生は理事会が決めた教育目標の一つだ＝クライストチャーチ市のセント・マーチンス小学校

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN, KANSAI
日本ニュージーランド協会（関西）



行天さんのタウランガ 1 か月留学の写真集



タウランガにて 後ろは Mt.マンガヌイ



お世話になったホストファミリー



カレッジの皆さんと小旅行



ホストファミリーの仲の良いオームと犬

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN, KANSAI
日本ニュージーランド協会（関西）